

横須賀市立市民活動サポートセンター 2021 年度 事業報告

1. 公益活動に資する管理運営事業

◆横須賀市立市民活動サポートセンター管理運営事業

(1) 施設管理

4 月に新たな常勤職員を迎え、6 月に 1 名定年退職などの人事異動があり、新たな体制での運営となった。まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発出に伴い、開館時間やスタッフの対応時間が変動したが、利用者への周知に努め丁寧に対応することで、トラブルなく運営することができた。

(2) 情報収集提供業務

①2021 年度広報実績

- ア. チラシ等の配架 イ. みんなの掲示板、何でもインフォメーションへのポスター掲出
- ウ. 活動紹介コーナーの展示団体コーディネート
- エ. ラジオ出演団体コーディネート (FM ブルー湘南)
- オ. ネット情報配信 毎月5日 (メールマガジン「のたろんメール」)
- カ. のたろん通信 (毎月 A4 表裏)、情報誌のたろん (年 4 回 4 ページ) の発行
- キ. ボランティア情報冊子の発行
- ク. SNS での情報発信 (Facebook、Twitter、YouTube)
- ケ. のたろん WEB (横須賀市立市民活動サポートセンター公式 HP) の改修

②利用者アンケートの実施

利用票の裏面の「利用者の声」欄にて利用者のご意見、ご要望を収集。ご要望については、指定管理者からの回答をセンターの HP に掲載するとともに館内に掲示している。

(3) 相談業務

ロビーワークでの相談、法人立上げ等専門的な相談、登録団体の協力で開催した各種相談会

(4) 連絡調整業務

行政、中間支援組織、登録団体等との連絡調整を行った。

(5) 自主事業

- ①大型印刷物出力サービス
- ②中ロッカーの設置、一時預かりサービス
- ③印刷機設置及びコピー用紙等消耗品販売
- ④パソコン講座
- ⑤印刷代行サービス

センターの休館中、団体が必要な印刷物の印刷の代行を請け負った。

2. 公益活動に資する支援事業

1) ボランティア・市民活動人材育成事業

(1) ぽぴーぐみ活動支援

【内容】汐入駅周辺と横須賀中央駅周辺での清掃活動、定例会の開催、のたろんフェアへの参加

(2) 県立保健福祉大学 ボランティア市民活動論授業コーディネート

【内容】コロナ禍で今できる活動を学生自身が考え行動できるように、また、終息後すぐに活動に活かせるようにボランティア・市民活動の理解を深める内容を提供した。

紹介機関：よこすかボランティアセンター、田浦基督教社会館、横須賀 YMCA、
三浦 YMCA、三浦市民交流センター

(3) 4S クラブ活動支援

【内容】サポートセンターのシニアボランティアグループ「4S クラブ」の事務局として活動を支援した。定例会の開催。

(4) しらかば子どもの家 ボランティアオリエンテーション

【内容】ボランティアを希望している学生向けのオリエンテーション開催。

2) 市民活動の「場」の創出

(1) 夏のボランティア・市民活動体験

【内容】横須賀市内及び近辺で活動する団体の市民活動イベントやボランティア募集情報を紹介して市民の参加を促し、コロナ禍でも活動を続けている団体の支援をした。

2021 年 7 月 17 日（土）～8 月 31 日（火）

(2) のたろんフェア 2022

【内容】9 月に実行委員会を立ち上げ、準備を始めた。オンライン、会場のハイブリッド開催で感染防止を講じながら市民活動の紹介を行った。特に、実行委員会企画としてオンライン運動会を実施し、8 家族が参加。初めての試みとして大変好評だった。

2022 年 2 月 12 日（土）、13 日（日）

3) 市民活動団体支援、ボランティア支援活動（基盤強化、活動促進）

(1) 各種セミナー、学習会の開催

①オンラインスキルアップ講習会

【内容】オンライン会議ツール Zoom の講習会。

②PIAZZA 説明会

【内容】青年会議所による説明会を開催。

③動画作成講習会

【内容】動画編集アプリを活用した動画作成講習会を実施

④NPO 法人立上げ事務説明会 講師

【内容】障がい者支援団体向けに NPO 法人立上げ事務について学習会の講師を担当。

⑤NPO 法人学習会 開催

【内容】非営利法人についての学習会。行政書士の岩堀氏を講師に、公益活動団体の法人格について学習した。会場とオンラインのハイブリッド開催。

(2) 市民協働講習会 開催支援

【内容】横須賀市市民生活課主催の学習会において、会場とオンラインのハイブリッド開催を技術サポートした。

4) 地域連携による地域課題、社会課題への対応

(1) 新型コロナウイルス関連支援プロジェクト実行委員会

【内容】コロナ禍で課題を抱えた子育て世帯を支援する枠組み。

買い物代行プロジェクト:感染者のいる子どもを抱えた世帯が買い物できなくて困っている場合に、買い物を代行する企画。(株)スズキヤの協力を得、買い物ボランティ

アと配送ボランティアとに役割分担をして安全に買い物代行をする。保健所から対象世帯へプロジェクトの周知を行ってもらい、必要な世帯から事務局へ申し込み支援を行う。待機中も実働なし。メール等で情報交換を行った。

(2) よこすか子育て応援ネットワーク

【内容】横須賀市内で活動する子育て支援の団体のネットワーク。事務局を務めている。現在32団体と個人が登録している。

- ①チャイルドラインカード配布
- ②横須賀市子どもの権利条約(案)についての学習会
- ③NPO 法人打楽器コンサートグループ・あしあと「打楽器コンサート」

(3) よこすか三浦子ども食堂・地域食堂ネットワーク

【内容】三浦半島地域内で活動する子ども食堂・地域食堂のネットワーク。事務局を務めている。現在8団体が登録(フードバンク含む)。

- ①メーリングリストでの情報共有(助成金情報、食材提供情報)
- ②コロナ禍での子ども達を心配した市民から子ども食堂への寄付の申し出が多くあり、ネットワークでお受けして登録団体に配分した。
- ③コロナ禍での子ども食堂の活動について、行政の支援の要望書を作成、提出。

5) 活動支援事業

(1) 夏のボランティア・市民活動体験 参加団体交流会

【内容】夏のボランティア・市民活動体験のエントリー団体が、期間中の活動報告をし、情報交換を行った。

(2) 市民活動団体支援交流会

【内容】①「コロナ禍での市民活動を考える」をテーマにオンラインと会場のハイブリッドで開催。団体の状況を共有するとともに、これからの展望を話し合った。
②「それぞれの活動から災害支援を考える」をテーマに、オンラインで開催。横須賀災害ボランティアネットワークの事務局の鈴木氏を講師に、市民活動団体が災害時にどのような役割を担ってきたのかを学び、意見交換をした。

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

NPO 法人 YMCA コミュニティサポートが、行政から委託を受けて行う事業および法人の使命に基づき独自に行う事業。

(1) 市民公益活動ポイント制度事業 (横須賀市)

【内容】横須賀市の市民公益活動ポイント制度の事務局を担い、団体申請の受付、管理、ポイント券の発行、寄付の受け渡しなどを行った。

(2) 企業・NPO・大学・パートナーシップミーティング 2021 in 横須賀三浦

～災害時における地上或連携の在り方～(神奈川県)

【内容】地域や社会の課題解決に向けて、企業・NPO・大学などの多様な主体が、それぞれの強みを活かして連携し、相互に協力しあえるマッチングの機会を提供する。

(3) 災害時の連携を考えるかながわフォーラム

【内容】神奈川県のカナガワフォーラムにて横須賀市立市民活動サポートセンター指定管理者として、災害時連携についての取り組みを紹介

(4) 東日本大震災復興支援

①のたろん復興応援団の取り組み

【内容】南三陸の現状を知る講演会

講師：南三陸ホテル観洋 第一営業課長 伊藤俊氏

②復興応援学習会の開催

【内容】横須賀市内で継続して被災地支援に取り組んでいる団体の活動紹介

講師：佐藤昌久氏（NPO 法人元気ハツラツ明るいまちづくり 理事長）

③活動紹介展示

【内容】横須賀市立市民活動サポートセンターの登録団体で、被災地支援を継続している団体の活動紹介のポスター展示。

④街頭募金

【内容】復興応援学習会の参加者を中心に、募金活動を行った。

（５）ピンクシャツデーの取り組みなど、地域の YMCA と連携して地域課題に向き合った。

4. その他

○横須賀市立市民活動サポートセンターの指定管理者更新

指定管理更新の審査があり、申請、プレゼンを行い、次期指定管理者に指定された。

○横須賀市立市民活動サポートセンターの管理に係る監査

横須賀市立市民活動サポートセンターの指定管理者として、横須賀市監査課の監査を受けた。監査結果は良好で、2つの指摘を受けたが対応し、報告を終了している。